

教育研究所 2回目の研究授業を実施～国語科班、算数・数学科班～

《研究主題》 子どもたちの未来に向かい、学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を目指す授業の創造
 (副題) ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの工夫

教育研究所の国語科班、算数・数学科班は、11月中旬にそれぞれ2回目の研究授業を行いました。研究も後半に入り、現在、研究授業を踏まえて、研究の成果と課題の取りまとめに取り組んでいます。

国語科班

指導者 丸野小学校第6学年 教諭 向井 永吉

単元名 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう 教材：鳥獣戯画



「筆者の主張の理由と、それを伝えるための工夫を見付けよう」というめあてを設定し、Jamboardを使って考えを整理しています。



「なぜその段落を選んだのか」という問いをもとに、他の児童と考えの交流を行い、自分の言葉で表現し合っています。



問いについて全体で意見を交流し合い、筆者の主張の理由がどの段落にあるのかを確かめています。

算数・数学科班

指導者 小松原中学校第2学年2組 教諭 松川 雄飛

単元名 図形の性質と証明



二十四角形の傘を見せ、スライドでも提示し、本時がn角形の内角の和を考えていくことを確認しています。



五、六、七角形の内角の和を利用し、n角形の内角の和の一般式をジグソー法のエキスパート活動として3人が分担して考えています。



n角形の内角の和について、各班の代表がJamboardやスライドを使って説明をしています。

▼▲▼本通信でお気づきのことや研究に関する問合せ等、御遠慮なくお電話ください。 ▲▼▲

都城市教育研究所（市役所南別館3階） 所長 曾原 良平 電話 23-7167（直通）